

世界のデング熱流行状況(更新 5)

2012年2月21日 ProMED 情報

(1)パラグアイ(全国)(2月14日)

公衆衛生省健康監視局長によると、これまでに 265 名の患者が報告されていますが、疑い例を含めると約 1,000 名になります。

(2)ボリビア(全国)(2月18日)

保健副大臣によると、流行地域はベニ Beni 県トリニダ Trinida やタリハ Tarija 県ヤクイバ Yacuiba へと広がっています。トリニダでは 170 名、ヤクイバでは 10 名の患者が報告され、1 名が死亡しており現在確認中です。保健大臣によると、昨年 10 月以来、約 1,800 名の確定患者と 5,400 名の疑い患者が報告されています。患者のおよそ 65% はサンタクルス Santa Cruz 地域からで、国全体では 16 名が死亡しており、コチャバンバ Cochabamba 県で 6 名、サンタクルス県で 6 名、ベニ県で 4 名です。

(3)ペルー(フニン Junin 県)(2月17日)

今年に入りこれまでに、チャンチャマヨ Chanchamayo 郡、サティポ Satipo 郡で 18 名の患者が報告されています。

(4)グアテマラ(ケツアルテナンゴ Quetzaltenango 県コアテペケ Coatepeque)(2月16日)

公衆衛生局によると、今年に入りこれまでに 25 名の患者が報告されています。

(5)メキシコ(ユカタン Yucatan 州メリダ Merida)(2月14日)

これまでに州都メリダに報告された患者数は昨年と比べて 40% 減少しており、2月14日現在、635 名が確定診断を受け、そのうち 280 名がデング出血熱患者です。

[ProMED 調整者]

かなりの高い確率でデング出血熱になることになります。

(6)フィリピン(ミンダナオ島南部地域)(2月17日)

保健当局によると、これまでに 26 の地区で 32 名が確定診断されました。多くは、住民が密集している Barangays City Heights、Labangal、Apopong、San Isidro 地区からの報告です。

(7)フィジー諸島(西部地域)(2月16日)

先月の大洪水のため病院への搬送が遅れ、2月12日、女性患者 1 名が死亡しました。保健省によると、西部地域での大洪水のため現在では、23 名の患者が報告されています。

(8)オーストラリア(クイーンズランド州ケアンズ Cairns)(2月15日)

2月14日、ケアンズ郊外のマニユンダ Manunda で 1 年ぶりに土着の患者男女 2 名が確認されましたため、保健局は住民に注意喚起を促しました。ケアンズでは、今年に入りこれまでに 9 名のデング熱が治療を受けていますが、すべて海外からの輸入例です。